

平成 25 年 6 月 14 日

関係者各位

治山技術上重要な施工地・施設（治山遺産等）の推薦について（お願い）

森林部門技術士会
会長 根橋達三

日頃から、当会の活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

治山事業は、明治時代のはげ山復旧の技術を底流とし、前身である森林治水事業が明治 44 年に開始されてから 100 年を超える歴史を持っています。これまでに、全国の山地・海岸に多くの治山施工地や治山施設がつけられて、国土保全に大きな役割を果たしてきています。森林の復元・保全を図る治山施工地や森林の機能を補完する治山施設は、周囲の自然と調和・融合したものが多く、一般の人には目につきにくい存在であり、これらの存在を広く周知して、治山の姿を伝えることは意義が高いと言えます。また、これまで培われてきた治山技術に技術史としての評価を加えるためには、その系譜を伝える施設等の調査研究が重要です。

そのために、森林部門技術士会では、平成 24 年度に引き続き、治山技術上重要な治山施設・治山施工地（「治山遺産等」と称する）のリストを作成するために、技術者等に推薦をお願いすることとしました。

つきましては、ご多用中恐れ入りますが、貴殿が技術的・社会的価値が高いと判断される治山施工地、施設について、調査票にご記入いただきご送付いただきますようお願い申し上げます。また、関係者に、本件の重要性を説明していただき、調査票を配布していただければ幸いです。

記

公募対象：明治・大正・昭和時代に施工された治山技術上重要な施工地・施設
（江戸時代に施工されたもの、地すべり防止工事を含む）

詳細は、「公募要領」を参照してください。

公募方法：所定の調査票(EXCEL ファイル)に記入してメールで送付

送付先アドレス：fce@fcri.co.jp

受付期間：平成 25 年 6 月 14 日から平成 26 年 3 月 25 日

問合せ先：森林部門技術士会森林土木部会

E-mail：sakurai@fcri.co.jp

電話：0279-52-4621（担当：櫻井）

その他：森林部門技術士会 Web でも情報が取得できます。

URL：http://www.geocities.jp/jaiforester8/

公募要領：治山技術上重要な施工地・施設（治山遺産等）の推薦について（第2回）

平成25年6月

森林部門技術士会

森林部門技術士会では、治山施工地・治山施設に対する文化的・歴史的価値を評価して、治山技術史の調査研究をすすめるために、技術者の方々に、治山技術上重要な施工地・施設（「治山遺産等」と称する）を推薦していただき、そのリストを作成して公表することとしました。多くの技術者の方が参加されますようお願い申し上げます。

なお、経過・成果等については、機関誌（フォレストコンサル）、Web ページにおいて報告します。

1. 対象とする「治山技術上重要な施工地・施設」

国内において、明治・大正・昭和時代及び江戸時代に治山技術（地すべり防止工事、関連技術を含む）を用いて実施されたもののうち重要と考えられる施工地・施設

【補足説明】

- ・「治山技術」とは、現行の治山技術およびそれに連なる技術、関連した技術とし、広い意味で用いるものとする。
 - ・具体的には、森林治水事業（明治44年～昭和22年）、治山事業（地すべり防止工事を含む）及び関連する事業で実施されたものを中心に、森林治水事業以前に実施されたはげ山復旧などや民間で実施されたものも対象とする。
 - ・古いものは所管等がはっきりしないものもあるが、治山技術の系譜に連なるものは、幅広く収集の対象とする。
 - ・流域試験地、観測施設、研究施設などの試験施設も対象とする。
 - ・実施したことを示す資料等があれば、現存しないもの、現状が明瞭でないものも対象とする。
 - ・重要性（調査票を作成するかどうか）や施工地の範囲は、調査者の判断によるものとする。
 - ・施設（構造物）、施工地（構造物群＋整備された森林）は、別々に収集するものとし、重なってもよいものとする。
 - ・原則的に、重要性は、①、②のいずれかの条件から判定するものとする。
- ①技術的な面からみて、工法、構造、材料などが先進的であったもの、規模が大きいもの、希少なもの、特徴的なもの、代表的なもの
- ②社会的要求が高かったもの、注目されていたもの、地元によく知られているもの、資料が良く保存されているもの、現状が良い状態にあるもの、町おこしなどに利用されているもの
- ・各地域にわたって、多くのデータを収集することが重要であることから、その地域で「最も古い」あるいは「最も大きい」とみられる治山ダム・山腹工、アーチダムなど特徴的な構造・材料を用いている構造物などを収集する。

2. 推薦方法

所定の調査票（EXCEL ファイル）に記入いただき、メールの添付ファイルとして提出してください。1 件ごとに 1 枚の調査票（1 つのファイル）としてください。

なお、調査票（EXCEL ファイル）の配布を希望される場合は、送付先アドレスに、件名を「調査票配布希望」としたメールを送付いただくか、森林部門技術会 Web ページから入手してください。

受付期間：平成 25 年 6 月 14 日から平成 25 年 3 月 25 日

送付先アドレス：fce@fcricri.co.jp

メールの件名：「調査票送付」

ファイル名：推薦者の氏名＋番号（複数ある場合） 例：森林太郎 001

その他：参考資料を送付される場合は、PDF ファイルで添付してください。

3. 調査票の著作権

応募いただいた調査票は、推薦者の著作物として取り扱います。調査票の作成においては、別紙の「調査票記載の留意事項」に留意するとともに、資料、写真、図表等の出典を明記するなど、著作権には注意してください。なお、調査票の公表については、森林部門技術士会にご一任ください。

4. リスト作成

応募いただいた調査票等を整理・検討して、森林土木部会（森林部門技術士会）がリストを作成します。なお、推薦者のお名前は、協力者名簿に記載し公表します。

5. 問合せ先等

詳細は、森林部門技術士会 Web ページをご覧ください。下記の間合せ先にお問い合わせください。

【森林部門技術士会 Web】

URL：http://www.geocities.jp/jaiforester8/

【問合せ先】森林部門技術士会森林土木部会

E-mail：sakurai@fcricri.co.jp TEL：0279-52-4621（担当：櫻井） FAX：020-4669-3024

[参考文献]

櫻井正明(2012)：治山技術上重要な施工地・施設のリスト作成について,フォレストコンサル No.129,pp.39-48.

櫻井正明(2012)：治山技術上重要な施工地・施設のリスト作成について－文化財としての評価と治山技術史研究のために－,治山 Vol.57,No.6,pp.22-25.

豊田康弘(2013)：北海道民有林治山林道 100 選について,フォレストコンサル No.131,pp.35-40.

内田勉(2013)：治山技術史研究への期待－治山技術上重要な施工地・施設の社内リストについて－,フォレストコンサル No.132（印刷中）.

調査票のイメージ

調査票(第2回)		ファイル名	2013/6/14 2:29		
①推薦者 連絡先	推薦者	1	名前		
			ふりがな		
		2	名前		
			ふりがな		
		3	名前		
			ふりがな		
	連絡先	代表者・担当者の氏名			
		ふりがな			
		郵便番号		-	半角
		住所1	都道府県		
	住所2	市区町村			
	住所3	番地まで			
	住所4	アパート・部屋番号 会社名・部署			
	電話番号		- -	半角	
	E-mail			@	
②タイトル 区分	タイトル				
	ふりがな				
	該当リスト番号		追加する場合のみ記載		
	分類		施設・施工地を選択		
	分野		分類を選択		
	都道府県コード				
	調査 レベル	A 関係者		有無を選択	
B 資料調査			有無を選択		
C 聞き調査			有無を選択		
D 現地確認			有無を選択		
③所在地	住所	都道府県			
		市区町村			
		番地まで			
	位置情報	緯度・経度	北緯		東経
	位置図の有無		有無を選択		
④施工時期	時代区分		時代を選択		
	年・年代 (西暦)	施工年			
		施工年代	年頃(年が明確でない場合)		
⑤施工主体	名称				
⑥概要	施工地・施設の目的、形態・規模、事業名、技術的・社会的価値				
	施設の 諸元等	施設の工種、形式、構造、諸元(高さ・長さ)など			
⑦現状	状態を選択				
⑧参考文献	-	著者、論文名(または書名)、掲載誌名・号数(または発行所名)、ページ数、発表年			
	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
10					
	未公開				
	-	図表・写真の有無			
⑨特記事項	記念碑等、重要な役割を担った技術者・技術者集団(企画・計画・設計・施工)、文化財等の指定(学会指定を含む)等				
⑩協力機関等					
⑪備考					

【別紙】調査票記載の留意事項

調査票は、先頭にファイル名を入れて、次の通り記載してください。

ファイル名：推薦者の氏名＋番号（複数ある場合） 例：森林太郎 001

①推薦者・連絡先

・推薦者の名前：推薦者の氏名・ふりがな（3名以下）を記載してください。組織の場合は組織名・ふりがなを記載してください。

・連絡先：代表者または担当者の氏名・ふりがな、郵便番号、住所（勤務先の場合は会社名・部署名まで）、電話番号、E-mail アドレスを記載してください。

②タイトル・区分

・タイトル：施工地または施設の呼名、内容を示す名称・ふりがなを記載してください。正式な名称や通称等がある場合はそれを用いてください。

・区分：分類・分野・所在する都道府県コード・調査レベル等について記載してください。

[分類（選択）]

1. 施設：治山技術を表わす構造物あるいは構造物群
2. 施工地：治山技術を表わす構造物と治山技術により整備された森林がある一定の広がりを持った区域

なお、施工地と施設が重複している場合は、最後の備考欄に記載してください。

[該当リスト番号]

追加する場合には、該当するリスト番号を記入してください。

なお、追加とは、第1回公募（平成24年度）の推薦リストに掲載されている施工地・施設に対して、今回の公募において追加データ等を行うものをさします。

[分野（選択）]

1. 山地災害防止（溪間工・山腹工）
2. 落石防止
3. 海岸保全
4. なだれ防止
5. 保安林整備（防風林を含む）
6. 地すべり防止
7. 試験施設（流域試験地、観測施設、研究施設など）
8. その他

[都道府県コード（数字を記載）]

別表参照して、該当する数字（2桁、半角入力）を記載してください。

[調査レベル（それぞれに有無を記載）]

- A. 関係者：施設または施工地の企画、計画、設計、施工を行った関係者である。
- B. 資料調査：文献・資料により調査した。
- C. 聞取調査：関係者への聞取りにより調査した。

D. 現地確認：現存していることを現地で確認した。

③所在地

所在地の住所（都道府県、市区町村から番地または国有林名）をわかる範囲で記載してください。

さらに、GPS や電子地図で計測した位置情報（緯度・経度）がある場合は、その値（度・分・秒）を記載してください。なお、範囲が広い場合は、中心付近の位置情報を記載してください。北緯・東経のセルに、度（1-3桁）、分（2桁）、秒（2桁）を、連続した数値で入力すると、単位付き（°，′，″）で表示されます。

また、可能であれば、国土地理院発行の地形図等を用いて図示した位置図を資料として添付してください。また、位置図の有無を記載してください。

④施工時期

施工時期をわかる範囲で入力してください。長期間にわたり施工されている場合は、開始時期を記載していただき、その旨を備考に記載してください。

時代区分について該当するものを選択してください。わからない場合は、不明を選択してください。また、施工した年または年代（年頃）がわかる場合は西暦で記載してください。なお、補修・補強や消失等があった場合は、最後の備考欄に記載してください。

[時代区分（選択）]

1. 江戸時代
2. 明治時代
3. 大正時代
4. 昭和時代（戦前・戦中）
5. 昭和時代（戦後）
6. 不明

[年]・[年代]

施工した年または年代(年頃)を西暦で記載する。わからない場合は、空欄とする。

⑤施工主体

施工を企画・計画した施工主体（補修・補強を含む）の名称（施工当時の名称）を記載してください。わからない場合は不明と記載してください。

なお、現在の管理者・所有者がわかりましたら最後の備考欄に記載してください。

⑥概要

施工地・施設の目的、形態・規模、事業名、技術的・社会的価値について、分かる範囲で特徴を記述してください。

また、施設の場合は、施設の諸元等について、工種、形式、構造、諸元（高さ・長さ）を記載してください。

⑦現状

施工地・施設の現在の状態を記載してください。

[状態（選択）]

1. 良好：良好な状態にある。
2. 破損：放置または破損しており、整備・補修の必要性がある。
3. 危機：消失・倒壊の危険性が高い。
4. 消失：消失・倒壊等により現存していない。
5. 不明：状況が不明である

⑧参考文献

参考文献について、分かる範囲で記載してください。記載するものがない場合は空欄としてください。

雑誌等に掲載された報文の場合：著者、報文名、掲載誌名、号数、ページ数、発表年

書籍の場合：著者、書名、発行所名、ページ数、発表年

また、可能であれば、参考となる図面・写真について添付してください。

⑨特記事項

記念碑等、重要な役割を担った技術者・技術者集団（企画・計画・設計・施工）、文化財等の指定（学会指定を含む）等について記載してください。記載する事項がない場合は空欄としてください。

⑩協力機関等

協力を頂いた機関・法人等を記載してください。なお、会長名の依頼文の送付先については、依頼文を送付した旨を注記してください。

⑪備考

必要に応じて、記載してください。

⑫その他

位置図、図面・写真等は、EXCEL ファイルに画像として貼り付けてください。なお、貼り付けられない資料等は、PDF ファイルで添付してください（ファイル名は EXCEL ファイルと同じ）。

[参考]位置図の作成

位置図は、次のいずれかの方法で作成し、必要な情報を記載してください。

1) 国土地理院発行の2万5千分の1地形図、5万分の1地形図を利用する場合：図面名を記載、「国土地理院発行の○分の1地形図利用」と明記。

2) 国土地理院が作成した「電子国土」基本図を利用する場合：位置情報(③)を記載、電子国土利用と明記。

<http://portal.cyberjapan.jp/index.html>

3) その他の地図を利用する場合：出典を記載

別表 都道府県コード

都道府県	コード	エリア
北海道	01	北海道
青森県	02	東北
岩手県	03	
宮城県	04	
秋田県	05	
山形県	06	
福島県	07	
茨城県	08	
栃木県	09	
群馬県	10	
埼玉県	11	
千葉県	12	
東京都	13	
神奈川県	14	
新潟県	15	中部
富山県	16	
石川県	17	
福井県	18	
山梨県	19	
長野県	20	
岐阜県	21	
静岡県	22	
愛知県	23	
三重県	24	

都道府県	コード	エリア
滋賀県	25	近畿
京都府	26	
大阪府	27	
兵庫県	28	
奈良県	29	
和歌山県	30	
鳥取県	31	
島根県	32	
岡山県	33	
広島県	34	
山口県	35	
徳島県	36	四国
香川県	37	
愛媛県	38	
高知県	39	九州
福岡県	40	
佐賀県	41	
長崎県	42	
熊本県	43	
大分県	44	
宮崎県	45	
鹿児島県	46	
沖縄県	47	